

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 4月22日更新

事務事業名		ボランティア表彰等事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	1	自治の健幸		所属部	市長公室	課長名	末永 大樹
	施策	1	市民参加によるまちづくりの推進		所属課	企画課	担当者名	堀川 高輝
	業務分野	1	地域づくり(まちづくり)人材の育成		所属班	企画広報班	(内線)	1256
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市ボランティア表彰実施要綱	
	一般	2	1	13	11542			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	ボランティア表彰事業：市長マニフェスト項目として事業を企画、平成23年10月19日に合志市ボランティア表彰実施要綱を制定した。 ボランティア活動を通じて社会に貢献されている個人や団体の更なる活躍を期待し、感謝の気持ちを表すとともに、広く市民へボランティア活動の輪を広げていくことを目的として、熊本県ボランティア月間である11月に、年1回の表彰を行なう事業である。令和3年度より市内小中学校へ推薦依頼を実施。 ふるさとサポーター事業：市外に住む市にゆかりのある人が合志市を応援するための登録制度。ふるさと大使、こうし元気たいを含む。 人材(財)バンク登録事業：市政(各種審議会・委員会等)に参加可能な人材の登録制度。 ※令和6年度から、11554(合志市ふるさとサポーター事業)、11555(人材(財)バンク登録事業)を統合。
【業務の流れ】	ボランティア表彰事業：例年8月ごろ、各区(自治会)、市ボランティア連絡協議会、市社会福祉協議会へ推薦依頼を行う。推薦された候補者書類審査により決定し、ボランティア表彰名簿に登録する。感謝状の作成。例年11月に表彰式を行う。 ふるさとサポーター事業：サポーター等に毎月広報紙を郵送。二十歳を祝う会でのチラシ配布。3年ごとの更新手続き。ふるさと大使、こうし元気たいの委嘱等。 人材(財)バンク登録事業：広報紙での周知。3年ごとの更新手続き。
【主な予算費目】	需用費、報償費、役務費、職員手当等

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

ボランティア表彰事業：今年度の推薦を受け付け、3団体・9個人の被表彰者を決定した。第14回表彰式(令和6年11月18日)で活動に対する功績をたたえ表彰を行い、広報紙1月号に掲載。広くボランティアの精神の浸透を図った。  
 ふるさとサポーター事業：二十歳を祝う会でチラシを配布した。  
 ふるさと大使：令和6年12月24日、プロゴルファー竹田麗央さんに委嘱状を交付した。  
 人材(財)バンク登録事業：広報こうし8月号へ募集記事を掲載し、新たに2名を登録した。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

ボランティア表彰事業：表彰式の実施。  
 ふるさとサポーター事業：更新確認。二十歳を祝う会でチラシを配布。ふるさと大使の活用。  
 人材(財)バンク登録事業：広報紙へ募集を掲載。

③予算の主な増減の理由

郵便料金の改定による役務費の増

成果指標

ア	ボランティア表彰	被表彰者数(個人・団体)	件
イ	ふるさとサポーター	新規登録者数(ふるさと大使・こうし元気たい含)	人
ウ	人材(財)バンク	新規登録者数	人

(単位)

データ取得方法

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
件	ア	6	12	20	12	20	20	20	0
人	イ	1	0	2	1	2	2	2	0
人	ウ	0	7	2	2	2	2	2	0
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	29	81	104	81	100	100	100
(A) 事業費計	千円	29	81	104	81	100	100	100	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

社会福祉協議会・ボランティア連絡協議会の他、区長・学校長・市役所内から広く推薦を受け付けたことで、ボランティア活動をされている多くの個人・団体の推薦があつている。

(4)今後の事業の方向性

廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)